



児童が育てた人権の花を贈りました

5月臨時会
6月定例会

町長 任期途中で辞職

8月4日が町長選挙の投票日

平成25年6月定例会は、6月5日に開会し、17日間の会期で行いました。
「平成25年度一般会計補正予算」など、7議案を原案のとおり可決しました。
なお、6月13日に、酒気帯び運転で摘発された町長の辞職を、全員一致で認めました。

主な補正予算

―6月定例会―

▼風しん予防接種費用の助成 136万8千円

妊娠を希望する女性とその夫に対して、接種費用のうち5千円を助成するものです。

▼防犯パトロール業務委託 995万6千円

昨年度と同様に、青パトによる夜間の巡回を行うものです。

▼役場前の資源物回収ステーションで分別指導 580万1千円

▼一斉メール配信システム使用料 300万5千円

防災・防犯情報や行政ニュースなど、メールで配信するものです。

▼各種予防接種委託 5991万6千円

ヒブワクチン、小児肺炎球菌などの予防接種費用です。

▼災害用のLPガス発電機を設置 2215万5千円

希望の家など避難所3カ所に設置するものです。

▼防災用地の購入 3250万円

砂子柳原ゲートボール場の一部を購入するものです。

▼人権教育を推進 98万円

中学校を中心に、人権教育を推進するための費用です。

▼防災キャンプ推進事業 50万9千円

小学生とその親を対象に、8月23日から25日まで、大治小体育館で行うものです。

物品購入契約

▼中学校の給食機器の購入

契約先 ハヤカワ産業株式会社

契約金額 976万5千円

納期 契約の日から平成25年8月31日まで

―5月臨時会―

平成25年5月13日(月)の臨時会で、議会の新体制を決定しました。

議長、副議長を選挙し、常任委員会などの所属の変更を行いました。

新たな議会構成は、4ページをご覧ください。

	議案	賛成	反対	結果	議案	賛成	反対	結果
6月定例会	国民健康保険税条例の一部改正	10	1	可決	平成25年度 一般会計補正予算(第2号)	11	0	可決
	公共用物の管理に関する条例及び町道路占用料条例の一部改正	11	0	可決	日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める請願書	1	10	不採択
	平成25年度 一般会計補正予算(第1号)	11	0	可決	核持ち込み密約を破棄し、非核三原則の厳守を強く求める請願書	1	10	不採択
	道路線の認定	11	0	可決	町長の法定期日前の退職期日に関する同意	11	0	同意
	物品購入契約(中学校の給食機器購入)	11	0	可決				

本会議質疑＆ 委員会ダイジェスト



一般会計補正予算(第1号)

スケジュールは

質問 人権教育は、中学校を中心に、3年間継続して行う。

こういったスケジュールを進めるのか。

答弁 1年目は教員の研修を進め、2年目は生徒が実践する。

3年目には冊子にまとめ、将来につなげていく。

推進体制は

質問 人権教育を推進するにあたって、新たに組織を設置する考えは。

答弁 「人権教育総合推進会議」を設けようと考えている。

メンバーは、人権擁護委員、民生・児童委員、警察、PTAなどを予定している。



L P ガス発電機設置予定場所

理由は

質問 L P ガス発電機を設置する理由は。

答弁 災害時に、避難所へ電気と炊き出し用のガスを供給するためである。

質問 設置場所を、希望の家、砂子ふれあいセンター、西條コミュニティセンターの3カ所にしたのはなぜか。

答弁 長時間対応できる非常用発電機が、設置されていないためである。

質問 設置場所を、希望の家、砂子ふれあいセンター、西條コミュニティセンターの3カ所にしたのはなぜか。

残りはどれくらいか

質問 木造住宅の耐震改修費の補助金は、7棟分である。

全てが使われた場合、本町で耐震補強工事が必要な木造住宅は、残りどれくらいになるのか。

答弁 目標は、平成27年度までに590棟である。7棟が完成すれば、残り540棟になる。

金額が高くないか

質問 一斉メール配信システムの予算の根拠と、配信の内容は。

答弁 初期投資で約200万円、今年度の使用料で約100万円を見込んでいる。

災害時には、緊急情報を配信し、平常時には防犯情報などを流す予定だ。

なぜ撤去

質問 浄水場公園の噴水は、なぜ撤去するのか。その跡地利用は。

答弁 噴水はタイルがはがされて、大変危険な状態なので撤去する。

その後は整地して、子どもたちが遊べるスペースにする。



撤去予定の噴水

現地調査

常任委員会では、各議案の審議に先立ち、現地の確認を行いました。



南小学校プール改修工事



防災用の土地購入予定地
(砂子柳原ゲートボール場)



町道路線の認定

ボランティアとの協働

質問 初めて実施する防災キャンペーンであるが、子どもたちの安全確保は十分か。

答弁 「防災ボランティアおおはる」や「日赤奉仕団」などに協力を求める。

また、健康管理は、町の保健師だけでなく、町内の保健師資格を持つ方にも協力を求める予定だ。

議会制度改革等特別委員会報告

チャレンジ・チャレンジ・パワーアップ!

～理想的な議会を目指して～

議会制度改革等特別委員会は、平成25年4月26日(金)の午後7時から、町立公民館を会場に、「議会報告会」を開催しました。

報告会では、3月定例会の報告と、参加された町民の方々との懇談を行いました。

はじめに、各常任委員長から、条例の制定や改正、平成25年度の当初予算など、審議の内容を報告しました。

質疑応答の後、議員は4グループに分かれ、町民の方々のテーブルにつき、懇談を行いました。

懇談会では、先ほど報告した内容について、さらに詳しい説明を行ったり、新規事業に対する厳しいご意見もいただきました。

参加された方々の町政に対する熱い思いを、ダイレクトに感じることができ、身の引き締まる思いでした。

今回いただいたご意見は、委員会で取りまとめ、行政側にも報告しました。

報告会は、町のさらなる発展のため、議会活動や議会改革の力とさせていただき、今後も多くの方との情報共有の場として行っていきます。

◆日時 次回の議会報告会は：平成25年10月25日(金) 午後7時

◆場所 未定
詳細は、回覧でお知らせします。
ぜひ、ご参加下さい。



30人の参加者でした



織田議長のあいさつ



服部総務教育常任委員長の報告



横井福祉建設常任委員長の報告



4グループに分かれて懇談



熱い思いを受け止めます

ずばり直言！一般質問

6月議会の一般質問は、6月10日に行い、7人の議員が町政をたどしました。質問と答弁を要約してお知らせします。

防げ 高齢者への虐待



広田幸治議員 高齢者に対する虐待は、特に家族間で介護をしていると、心身の負担から起きることも知られている。誰もが虐待をする、される危険性を抱えている。

高齢者虐待が全国的に増えている中、可能な限り防いでいかななくてはならないと考える。

本町において、どのように対応をしていくつもりか。

県のマニュアルで対応

福祉部長 通報があった場合、「県高齢者虐待対応マニュアル」に基づいて、事実を確認する。

それとともに、高齢者や養護者に対して、相談や指導、助言を行う。

問 災害時要援護者支援の改善を

答 現状を踏まえ、対応

砂子東部の水路の整備を



健児議員 砂子第1排水機場へつながる水路近郊は、毎年、水害に悩まされている。

今年度の予算では、ポンプと配管を交換し、排水能力を高める。

しかし、水路自体がコンクリートで底打ちしていないため、草が生えて水流が悪くなっている箇所がある。

三面打ちなどで水流を速くし、排水の改善を。

来年度以降に整備

町長 来年度以降、359メートルの三面打ち、底打ちを進め、水流を速めたい。

都市整備課長 しゅんせつ工事の時に、水路内の草生えや堆積物を除去する。

町民と協働したまちづくりを推進せよ



横井良隆議員 少子高齢化が進行する中、すべてを行政に任せるのではなく、自律的に課題を解決していく必要がある。

町民との協働は、地域活性化に大きくつながると確信している。

①NPO・各種ボランティア団体への支援は十分か。

②町民の力を行政にどう生かそうと考えているのか。

③自治基本条例など、制定の考えは。

協働を推進

企画課長 ①「地域の問題は地域で解決する」というまちづくりを目指して、地域で活動されている方々を支援していきたい。

②NPOやボランティア団体は、貴重な町の財産だと考えており、さまざまな協働を推進していく。

町長 ③条例制定を考えている。

高齢者福祉の充実を



折橋盛男議員 本格的な高齢化社会を迎える前に、福祉行政の充実を図る必要性を問う。

①高齢者向け介護施設など、将来を見越した施設の整備、充実の考えは。

②孤立社会から共助社会への転換が重要となるが、ボランティア組織の育成、働く場の提供、人材の育成など、行政としてどうかわかっていくのか。

連携し進める

福祉部長 ①施設整備には限りがあるので、施策の充実で健康維持や介護予防に努める。

②培った知識や経験を生かした地域貢献活動が行えるよう、社会福祉協議会と連携を図りながら進める。

問 投票率アップの施策は

答 啓発に努め、改善

市バス・地下鉄の敬老パスを導入せよ



吉原経夫議員 町長の公約の1つに名古屋市との合併がある。

しかし、その進捗状況は、町側から町民に伝わって来ない。

名古屋市交通局の敬老パスを使いたいという強い要求があり、これが、合併を求める理由の1つになっている。

そこで、市バス・地下鉄の敬老パスを導入する考えはないのか。

導入しない

福祉部長 過去には70歳以上の方に、バス・地下鉄の利用に助成していたが、平成16年をもって廃止した。

従って、敬老パスを導入する考えはない。

問 体育協会会計横領事件を、町民に報告せよ

答 議会に昨年説明した他に5問ありました

ふれあいフェスティバルの駐車場の拡大に協力を



豊田さか江議員 ふれあいフェスティバル開催時に、南小学校の運動場を臨時駐車場として開放すべきと考える。

主催の社会福祉協議会と商工会、協賛協力団体などの車両だけでも、かなりの台数となる。

開放できない

福祉部長 平成23年度に運動場の土壌改良をしたので、駐車場として利用できない。

関係者の車両は、教職員、来場者には、臨時駐車場を設けシャトルバスで送迎している。

問 教育委員会の独立性は

答 合議制で進めている

コンテナ型備蓄倉庫の設置の考えは



後藤田麻美子議員 大災害が発生し、避難所への物資の輸送が著しく困難な状況となった場合、速やかに対応できる災害用備蓄倉庫が必要になる。

町民の避難所である小中学校に備蓄品が保管されているが、必要数としては足りないのではないかと。

コンテナ型の備蓄倉庫を小中学校の校庭に設置する考えは。

現状が最善

総務課長 各施設に備蓄用のスペースを確保しており、管理面からも現状の配備方法が、最もいいと考えている。

備蓄食料も約5日分確保しており、今後も計画的に備蓄品の整備に努めていく。

あれからどうなった！

過去の一般質問から、その後どうなったかを追跡取材し、お知らせします。

平成24年12月定例会

質問 災害に強いまちづくりのため、学校で防災キャンプを実施しては。

答弁 防災キャンプは有効と考えている。



◆平成25年8月23日～25日に大治小学校体育館を拠点に実施するため、6月定例会に、補正予算が計上されました。

平成23年6月定例会

質問 資源ごみの持ち去り対策を。

答弁 検討していく。



◆ごみ収集所に出された新聞・アルミ缶などの資源物の持ち去りを禁止し、違反者には、30万円以下の罰金を課す条例が、平成24年10月1日からスタートしました。

5月臨時会

新体制でスタート
《議会人事》

◆議長
下方 繁孝

◆副議長
村上 昌生

◆総務教育常任委員会
◎横井 良隆
○後藤田 麻美子
○廣田 幸治
林 健児
村上 昌生
織田 八茂

◆福祉建設常任委員会
◎浅里 周平
○折橋 盛男
吉原 経夫
服部 勇夫
下方 繁孝
豊田 さか江

◆議会運営委員会
◎服部 勇夫
○織田 八茂
後藤田 麻美子
横井 良隆
豊田 さか江
浅里 周平

◆議会制度改革等特別委員会
◎服部 勇夫
○織田 八茂
(委員は全議員)

◆広域連携調査特別委員会
◎横井 良隆
○浅里 周平
(委員は全議員)

◎委員長
◎副委員長
委員は議席順

下方議長に聞く！

5月13日に議長に就任した下方繁孝議長（66）に、お話を聞きました。

―初めての議長就任ですが、お気持ちは

初めて議長席に座り、議員・傍聴者の皆さんと対面したとき、非常に緊張しました。

議長は議会の代表であり、大変な重責と痛感しています。

―議会運営については

議長は、議場の秩序を守り、議会を中立的な立場で円滑に運営しなければならぬ責任があります。

微力ですが、一生懸命務めます。

―議会改革については

現在進めている「議会基本条例」の制定に向け、全力で取り組んでいきます。

―町長が酒気帯び運転で摘発されたという問題が起きました

あつてはならないことであり、非常に残念です。

町長より、なかなか出処進退が示されなかったもので、それまでの間、議会側の姿勢を示すのに、非常に苦慮しました。

―町民の皆さんに一言

議会とは、町民の皆さんから厳粛な信託を受けています。町民の代表として、身近で信頼される議会を目指します。

常に、「何ができるのか、何をすべきか」を考え、町民の皆さんと協力し、町政発展に努めてまいります。

9月定例会日程（案）

3日（火）本会議（上程・提案説明等）

9日（月）本会議（一般質問）

11日（水）本会議（質疑等）

13日（金）総務教育常任委員会

17日（火）福祉建設常任委員会

18日（水）委員会予備日

19日（木）委員会予備日

27日（金）本会議（採決等）

※開会は午前10時です。

※日程は変更となる場合があります。

定例会日程は、町のホームページでも確認いただけます。

本会議を傍聴してみませんか

本会議は傍聴できます。町政の様子を知るには、議会を傍聴することが一番です。

傍聴を希望される方は、本会議の当日、受付（役場4階議場前）後、傍聴席へお入りください。

定員は60人です。

まちかどインタビュー
No. 32

西條柳原で「老楽館」を運営しておられる田村忠男さん（76）に、お話を伺いました。

―老楽館とは何ですか

そうですね：簡単に言えば趣味の館です。仕事をリタイアしたとき、子どもの頃から好きだった「ものづくり」をしようと思い、木工のからくりおもちゃ作りを本格的に始めました。

―始められたきっかけは

今から8～9年ほど前に心臓病を患い、治ったと思ったら、がんにかかりました。

70歳を機に鉄工業を辞め、それから「からくりおもちゃ」作りの始まりです。

設計図は作らず、頭の中で考え、順序を踏んで作ります。

町立公民館での「からくりおもちゃを作ろう」の講座や、稲葉地小学校での指導を通じて、子どもたちに「ものづくりの楽しさ」や、

「これから活動は

町立公民館での「からくりおもちゃを作ろう」の講座や、稲葉地小学校での指導を通じて、子どもたちに「ものづくりの楽しさ」や、

―これからの活動は

町立公民館での「からくりおもちゃを作ろう」の講座や、稲葉地小学校での指導を通じて、子どもたちに「ものづくりの楽しさ」や、

―これから活動は

町立公民館での「からくりおもちゃを作ろう」の講座や、稲葉地小学校での指導を通じて、子どもたちに「ものづくりの楽しさ」や、

子どもたちに熱心に指導

「夢」を与えていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。

老楽館の中は、「からくりおもちゃ」がいっぱい。そんなおもちゃに囲まれて、語られる田村さんの目は、少年のように輝いていました。

これからも元気で、活躍して下さい。

暫時休憩

◆夏の日差しが皆さんと照りつけ、暑い日が続いています。

◆8月の町長選挙に向けて、熱い議論が交わされています。

◆アツイ夏の到来です。この暑さにも関わらず、子どもは元気に走り回っています。

この子どもたちの将来のために――

◆8月4日は町長選挙の投票日。

将来を見据え、投票に行きましょう。

◆町長の辞職で陰を落とした大治町。

議員一丸となって、信頼回復に努めます。

おおはる議会だより（4）